

理科 6年間カリキュラム

分野	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
中 I	科目	理科A (2単位)	理科B (2単位)	(理科B)
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 物質の姿 物質の分離・化合 状態変化 エネルギーと物質 自然環境の保全と科学技術の利用 科学が開く世界 	<ul style="list-style-type: none"> 進化と系統 生態系と保全 多様性と生態系 生物の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の歴史 地球層からわかる地球の過去 地表の変化
中 II	科目	理科A (2単位)	理科B (2単位)	(理科B)
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 光と音 電気 力と圧力 ◇物理基礎の内容も適宜取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらき 動物の発生 刺激の受容と反応 受容体のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の内部構造 プレートテクトニクスと地形 地震のしくみ 火山のしくみ マグマからできた火成岩
中 III	科目	理科A (2単位)	理科B (2単位)	(理科A/理科B)
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 運動の規則性 ◇物理基礎の内容も適宜取り入れる。 エネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の成り立ち 化学変化 化学変化と物質の質量 物質の構成粒子 物質と化学結合 	<ul style="list-style-type: none"> 理科Aで扱う内容 さまざまな天体と宇宙の大きさ 天体の動き 太陽系 銀河系と宇宙 大地の変動による災害 理科Bで扱う内容 天気とその変化 地球における熱の出入り 人間の生活と大気への影響
高 1	科目	物理基礎 (2単位)	化学基礎 (2単位)	生物基礎 (2単位)
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 運動とエネルギー 熱 波 電気と磁気 原子 ◇大学受験に向けて問題演習 ◇共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応 酸と塩基 物質量と化学反応式 酸化還元反応 	<ul style="list-style-type: none"> 中学の復習 恒常性 神経系 生物の環境応答 行動
高 2	科目	物理基礎 (2単位)	【自選】化学 (2単位)	
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 運動とエネルギー 熱 波 電気と磁気 原子 ◇物理の発展的な内容も適宜取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態と変化 気体の性質 固体の構造 溶液 化学反応と熱・光エネルギー 有機化合物の特徴と分類 脂肪族炭化水素 	
高 3	科目	【自選】物理 (4単位) / 物理演習 (2単位)	【自選】化学演習 (4単位)	【自選】生物 (4単位) / 生物演習 (2単位)
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 力と運動 熱と気体 波 電気と磁気 原子 ◇大学受験に向けて問題演習 ◇共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素を含む脂肪族炭化水素 芳香族化合物 有機化合物と人間生活 反応の速さとしくみ 化学平衡 高分子化合物 ◇大学受験に向けて問題演習 ◇共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> 進化と系統 遺伝子のはたらき 生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答 生態と環境
	単元	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して共通テスト対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して共通テスト対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して共通テスト対策を行う。

6年間指導における指導上の工夫

物理分野

- ・実験・観察を積極的に行う。その際、目的意識をもてるように仮説を立てる時間やグループで議論し、科学的思考力を養う時間を設定する。
- ・高校3年の10月までに全範囲を終え、入試に向けて演習活動の時間を確保している。

化学分野

- ・前期課程、後期課程で関連があり、横断的に学習できる分野を、同じ時期に学習できるように、カリキュラムを配置する。
- ・目に見えないものに対して思考できるような、理論力を前期課程の段階で身につける。
- ・上記のカリキュラム配置により、学びなおしをなくし、高校3年生では入試に向けての演習活動の時間を確保している。

生物分野

- ・中学過程で先取りした部分を踏まえて学習活動を行い、高校1年基礎分野から高校3年生物分野にわたって、幅広く学習を進める。
- ・観察、実験以外にも生徒一人ひとりが、主体的な学習活動を行い、科学的な概念や原理・法則を他者に対して説明できるような力を身につけさせる。
- ・化学基礎などと連携した学習を行い、科目にとられない科学的な思考力を身につけさせていく。
- ・高校3年生では、前期課程で教科書の内容を修了し、後期課程で、より発展的な学習、入試に向けた演習を取り入れていく。

地学分野

- ・高校の内容にも一部踏み込み発展的な学習を行う。
- ・身近な地学に興味をもちフィールドワークしたくなるような授業を展開する。